



水道拡張事業スタート

今年度は配管工事の六割

未給水地区と給水量不足の解消を―三カ年継続、総事業費九億円を超す東由利水道拡張事業がスタート。積雪を前に、配管工事が急ピッチで進められています。

拡張に伴う給水範囲は、これまでの東由利・館合両水道給水区域に、新たに法内（高村、中の沢除く）、宿、下吹、松柴、深山（石高）、上里（一部）の未設置地区を加え、四十三集落、千二百戸余りを見込んでいます。

ボツメキ、牧山両既設水源に加え、新たに松沢の善徳川から取水（水源）するこの拡張工事は、建物、配管、土木工事を、八つに細分してそれぞれ発注しました。今年度は、送・配水管敷設工事の約六割を施工する予定です。

施工にあたっては、だれでも工事内容がわかるように、施工図（看板）を各現場に立て良質工事の施工につとめています。

工事期間中、通行される皆さんには不便をおかけする場合もあると思いますが、早期完成のためご協力をお願いします。

町の生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康な暮らし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心

三氏が晴れの表彰

文化の日に功労者表彰式

昭和五十七年功労者表彰式が十一月三日、前表彰者、町自治功労者、議会議員、各団体長ら約七十人が出席して有鄰館で行われました。

今年、晴れの表彰となったのは、元町監査委員の故長谷山理一郎氏(上通)、町農業委員会長の遠藤孫助氏(小倉)、農学博士の阿部廣雄氏(本町) 式は午前十一時三十分開始、故長谷山氏のご遺族、長谷山フクヨさん、遠藤氏所用の為出席できなかった阿部氏に代わっておいの阿部和雄さん(杉森)に、それぞれ功績をたたえる表彰状と記念品が町長から贈られました。



続いて、町長が式辞に立ち、功労者の業績を紹介するとともに「ますますご健勝で、町勢発展町長から、功績をたたえる表彰状が表彰者一人一人に贈られた

重点に放水訓練 中継

館合地区で大火防止訓練



家の下で火災発生、全分団出動せよー町の防災計画に基づき秋の大火防止訓練が十一月九日、館合地区で行われました。

今回は、異常乾燥強風注意報と火災警報が発令され、警戒中の午前九時二十分頃、家下で火災発生。気象、水利などの悪条件を考慮し、全分

のため、なおいつそうのご指導、ご協力をお願いしたい」と述べたあと、小野町議会議

長、佐藤教育委員長からお祝いのことが寄せられました。これに対し、受表彰者を代表して遠藤氏が「菊薫る文化の日に、被表彰者としてお招きを受け、大変ありがたく、感謝無量である。しかし、現在までの流れに遅れまいといっしょうけんめい歩んできただ

けで、このような表彰に浴するだけの足跡を残してきたかを考えると、その域に達してはならず、誠に心恥ずかしい思いがする。ここに感謝の意を表し、今後ともなにごんのご愛顧、ご指導をよろしくお願いしたい」とあいさつし、式典を終えました。

る大型サイレン吹鳴とともに、町、消防関係者、警察官、交通指導隊、東北電力、地元婦人消防隊員ら合わせて二百二十余人と車両二十六台が出動し、約四十分間にわたって本番さながらに消火、救急、広報活動を繰り広げました。

この日の訓練では、水利の悪条件を考慮して消防車二台による中継放水に重点が置かれ、初期消火活動として婦人消防隊員によるバケツリレー活動や消火栓直結放水活動と併せ、団員の消防技術の練磨と地域の防火思想高揚に大きな成果を収めました。

これからは寒さも一段と厳しくなり、ストーブなどの暖房器具を使うことから一年のうちで最も火災発生の危険が多くなります。また、降雪も加わって消火活動も難しくなり、ちょっとした不注意から大惨事になりかねません。「火の用心、心で用心、目で用心」火の取り扱いには細心の注意を払い、悲惨な、赤い炎の犠牲にならないようにしましょう。

町職員を募集します

昭和五十七年度町職員の採用試験を次により行います。申込用紙、受験案内等、詳しくは役場総務課にお問い合わせください。

- 一、職務内容……一般的な行政事務
- 二、採用予定人員……初級(高校卒程度)男子二人
- 三、申込期限……57年12月13日(月)午後四時半まで
- 四、受験資格……昭和32年4月2日から昭和40年4月1日まで生まれた方
- 五、第一次試験……昭和57年12月24日(金)・場所 秋田県自治会館(秋田市山王四・二・三)
- 六、第二次試験……昭和58年1月中旬(予定)・場所 東由利町役場(予定)

「火の用心！」





十一月六日、七日の両日、町生活文化祭が有鄰館、朋楽荘、公民館で、農協祭がライスセンター構内でそれぞれ行われ、期間中、好天にも恵まれ延べ約四千人が詰めかけ、

四千人の人出でにぎわう

生活文化祭 出来秋祝う
農協祭



チビっ子らの発明工夫品が数多く展示され、一番人気の発明工夫展

にぎわいをみせました。文化祭では今年新たに消費生活展と苗木コーナーが設けられ、三会場には、衣服手芸品や発明工夫品、陶芸品、写真、書画、愛石、いけ花、盆

青少年の健全育成を

総理から町長にメッセージ

全国青少年健全育成強調月間中の十一月十五日、県生活環境部青少年婦人課の渡辺課長ら一行八人のキャラバ

総理のメッセージが渡辺課長(左)から小松助役に

裁、俳句など、子供からお年寄りまでの力作千四百二十五点が展示され、訪れた人たちの目を引いていました。二日目には、有鄰館集會室で、秋田を舞台にした映画「マタギ」が上映されたほか、ステージでは、ふるさと演芸発表会と題して、公民館各分館や老人クラブ芸寿会の皆さんが唄や踊りを発表し、好評を博しました。



↑発明工夫展に負けず劣らず人気の老人作品展…衣服手芸品、野菜、びん詰め、盆栽、わら工品などがズラリ

一方、農協祭では、農産物等の展示のほか、牛肉の直売、野菜やヤマメの即売、巻きずし講習会、米消費拡大展、さらに、演芸発表会や作業着の

各分館や老人クラブ芸寿会の皆さんが唄や踊りを発表し、好評を博したふるさと演芸発表会



ファッションショーなども行われ、お祭りムードを盛り上げ、三年続きの冷害を免れた出来秋を喜び合っていました。

基盤であり、国民的課題である。しかし、変化の時代といわれる今日、青少年を取り巻く社会環境には多くの問題があり、青少年の非行等問題行動が著しく増加し、深刻化していることは、誠に憂慮に堪えない。青少年の人格形成に果たすべき地域社会の役割は極めて重要であり、家庭・学校をはじめ、社会全体が連携・協力し、一体となって健全育成に取り組むことを切望す

「郷土の青少年は郷土の手で守ろう」
これを受けた小松助役は「先般、本町に青少年育成町民会議が設立され、今後、これらの組織と連携をとりながら、健やかな青少年の育成に努めたい」とあいさつ。キャラバン隊は午後三時過ぎ、次の訪問町、雄物川に向け役場をあとにしました。

みんなそろって明るなお正月を

「歳末たすけ合い運動」
にご協力を

12月1日～25日

「ひとの心の暖かさ」—今年も恒例の「歳末たすけ合い運動」が12月1日から行われます。昨年度は町内から34万5,035円が町社会福祉協議会に寄せられ、低所得世帯や長期入院、入所者に全額配布して喜ばれました。

恵まれない方が、みんなそろって明るなお正月が迎えられますよう、今年も是非、あなたの「善意の灯」を!!



なら82

「行政改革推進」「長びく経済不況」——と、厳しい世相で迎えた昭和五十七年も師走。みなさんにとってこの一年は、どうだったでしょうか。

町では、国の苦しい台所事情が町財政にも大きく影響し、公共事業の抑制や補助率・起債充当率の低下など、一段と厳しい環境の中での町政運営を余儀なくされましたが、限られた財源を有効に活用し、創意と工夫を凝らして豊かな住みよい町づくりのため、着実に歩を進めてきました。

そこで今回は、行く年を振り返り、来る年がさらに伸長発展することを期して、今年発行した広報の中から「82町勢八大ニュース」を拾ってみました。

広報で拾う

「町勢八大ニュース」

すべての人々がひとしく水道のある生活が送れるように——町では、未給水区と給水量不足の解消を図るため、ボツメキ・牧山両水源に加え、新たに松沢の善徳川から取水し（水源）、

東由利水道拡張事業に着工

館合水道を併せた東由利水道の拡張工事に着手しました。工事期間は三カ年、総事業費は約十億円を見込み、一個の町営事業としては過去最高の事業費です。これにより、一日一人当たり給水量は、これまでの百九十リットルから三百八十七リットル以上能力アップします。



住吉・玉米両小を統合し八塩小が発足

老朽校舎と複式学級の解消を——全町三校案に基づき、住吉小と玉米小が統合して四月から八塩小学校が発足。同月五日、臨時校舎とする旧住吉小体育館で開校式を行い、同校の新しい門出を祝い、限らない発展を祈念しました。

新校舎建築は六月から進められ、工事は順調に進み、今月二十三日に竣工式、二学期中に移転を終える予定です。



大台集落に基幹道路整備

幅員三メートル程度の道路が入り組んでいた大台集落に、団体営農道整備事業として今年から四カ年計画で、全幅五メートル、車道幅員四メートルの農

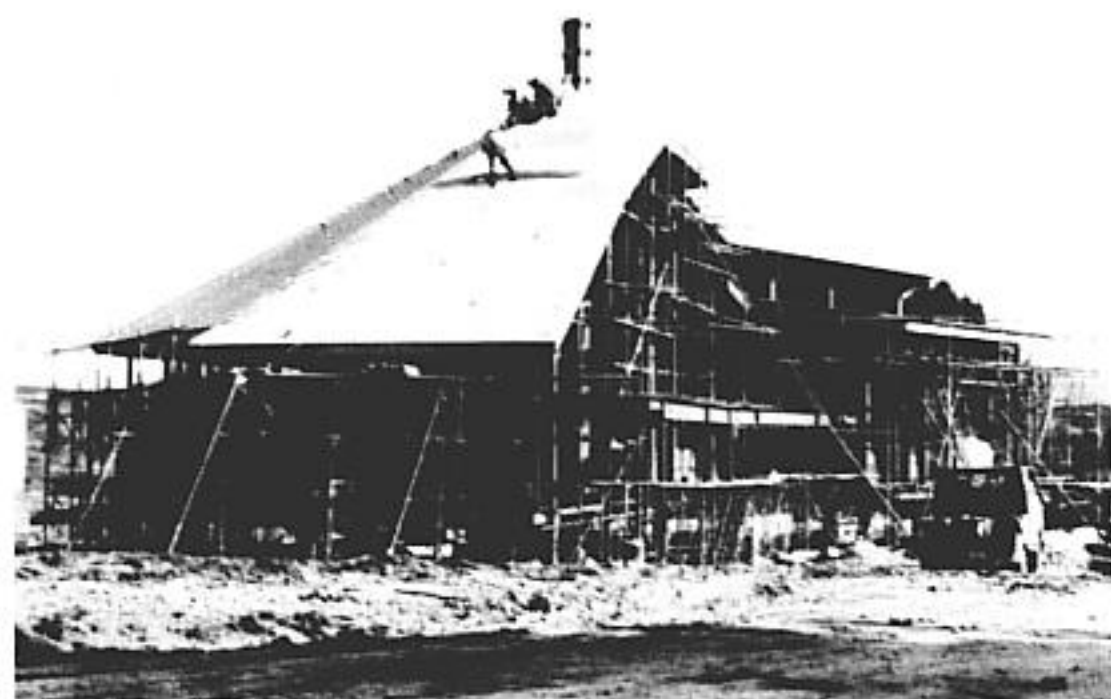
道が整備されることになりました。路線は、大谷地から大台、大落を通って農免農道根小屋線に接する二、九〇〇メートル。点在する各民家を結ぶ幹線道路となり、本来の農道としてのメリットだけでなく、生活関連道路としても地域発展に大きく貢献するものと期待され、一日も早い完成が待たれています。



昭和57年の主な歩み

- | | |
|-------|--|
| 1月5日 | 町政座談会（住吉分館主催、於・住吉会館） |
| 5月7日 | 全県ミニバスケットボール大会（玉小男・女子チーム出場） |
| 6日 | 町消防団出初め式（於・大琴小体育館） |
| 7日 | 町政座談会（蔵分館主催、於・大蔵館） |
| 12日 | 町政座談会（老方分館主催、於・商工会館） |
| 12日 | 「岩館のイチョウ」が県天然記念物に指定 |
| 2月21日 | 出稼者安全就労推進集会（於・都道府県会館） |
| 24日 | 畜産講演会（於・有鄰館、講師・橋本行雄県畜産会参事） |
| 3月6日 | 第二回定例議会始まる（20日閉会、昭和57年度一般会計当初予算額 21億9,747万8千円） |
| 18日 | 玉米小廃校式 |
| 19日 | 住吉小廃校式 |
| 26日 | 地すべり防止区域指定（大吹川地区58・64号） |
| ※ | 中核林業事業完了（52・56年度） |
| ※ | 第二次農業構造改善事業完了（北部52・54、中部52・55、南部53・56年度） |
| ※ | 新農業構造改善事業完了（宿地区54・56年度） |
| ※ | 須郷地区団体営農道整備事業改良舗装完成（LⅡ1、383号） |
| ※ | 葎沢地区団体営農道整備事業改良舗装完了（LⅡ1、070号） |
| 4月1日 | 八塩小発足（旧住吉小を臨時校舎） |
| 20日 | 自治会長会議（於・有鄰館） |
| 26日 | 出稼者就労安全対策協議会設置 |
| ※ | 第三期山村振興計画策定に着手 |
| ※ | 大台地区団体営農道整備事業に着手（LⅡ2、680号） |
| ※ | 出羽丘陵開発全体事業計画策定年度 |
| ※ | 森林総合整備事業導入 |
| 5月5日 | 第22回町青年大会（優勝・住吉青年会） |
| 14日 | 朴の木沢放牧場開牧 |
| 6月6日 | 第四回町民登山の会 |
| 8日 | 八塩小新校舎建築起工式 |
| 19日 | 蔵一号トンネル貫通式 |

まよ



大平スキー場 を拡張整備

昨年十二月、照明灯と簡易リフトを設置し、本荘・由利で唯一のナイターファミリースキー場として家族連れや若者を中心に人気を呼んだ大平スキー場。観光施設の少ない本町にあって、

冬季観光の柱として、また、郡市のスキー場として位置づけるため、五十七年度に▽ヒュッテ新築▽ゲレンデ拡張▽斜面修正▽ロープトラウ増設▽駐車場整備▽道路拡張―など、一連の施設を充実。小規模ながらも機能をグンと高め、一回り大きくなつて今冬お目見えします。



町民グラウンドに 本部棟ほか整備

年々高まる野球熱を反映し、町民グラウンドに昨春秋から今春にかけて、本部棟、ダッグアウト、内野フェンス、観覧席を整備。野球場としての機能を一段と充実しました。

本町和牛が全国 共進会で優等賞

「日本一和牛祭り」ともいえる全国和牛能力共進会が九月十五日から六日間、福島県・本宮町で開かれ、秋田県代表として出陣した本町山崎・小松良一さんの「もりひめ号」が、みごと「優等賞」を受賞。本町の飼養技術管理、和牛の改良方向が全国的に認められたものであり、小松さんはもとより、町内和牛飼養農家にも大きな自信と希望を与えました。



「岩館のイチヨウ」 が県天然記念物に

「乳房のイチヨウ」と呼ばれ、古くから崇められてきた「岩館のイチヨウ」が、一月十二日付で県指定天然記念物となりました。樹齢推定三百年以上、樹幹胸高周囲九・二メートル、樹高三〇・四メートル、枝張直径三・〇メートル。

全県ミニバス大会 に玉小男・女出場

一月五日から三日間、県立体育館で開催された第四回全県スポーツ少年団大会兼第十回全県ミニバスケットボール教室交歓大会に、本荘由利代表として玉小チームがアベック出場。善戦、惜しくも初戦は飾れませんでした。が、全員選手という郡部の小規模校の活躍に、大会関係者から大きな称賛の声が寄せられました。



- | | | |
|----|--------|---|
| 24 | 25日 | 町敬老会(該当者、579人) |
| 29 | 日 | NHK東由利FM局開局 |
| 30 | 日 | 町畜産共進会(肉牛11頭、乳牛11頭出陳) |
| 7 | 月5日 | 町健康大学開講(受講生70人) |
| 13 | 日 | 町消防訓練大会(総合優勝、第五分団) |
| 23 | 日 | 第五回臨時議会(常任委員会数を四から三に) |
| 27 | 日 | 郡市消防訓練大会(総合の部で五分団二位) |
| 8 | 月6日 | 自然観察会(於・鳥海山) |
| 15 | 日 | 町成人式(該当者128人) |
| 24 | 日 | 町追悼式(於・有鄰館) |
| 27 | 日 | 町政座談会(法内分館主催、於・克雪センター) |
| 28 | 日 | 大平ヒュッテ新築工事起工式 |
| 29 | 日 | 町民運動会 |
| 9 | 月3日 | 「青少年育成東由利町民会議」設立 |
| 4 | 月6日 | 県畜産共進会(於・河辺町、島・畑山克司さんのジャージー牛が優等賞受賞) |
| 7 | 日 | 間伐講習会 |
| 8 | 月9、16日 | 広報バス運行 |
| 14 | 日 | 国道一〇七号線改良期成同盟会総会(於・雄物川町) |
| 15 | 月20日 | 第四回全国和牛能力共進会(山崎・小松良一さんの「もりひめ号」が優等賞受賞) |
| 16 | 日 | 町政座談会(袖山分館主催、於・袖山分館) |
| 21 | 日 | 第七回定例議会(10月2日閉会、町監査委員に遠藤莊二郎氏選任、56年度各会計決算承認) |
| 10 | 月16日 | 全町マラソン大会 |
| 19 | 日 | 蔵二号トンネル貫通式 |
| 23 | 日 | 町老人クラブ連合会設立二十周年記念式 |
| 23 | 日 | 杉森に会館落成 |
| 23 | 月24日 | 郡市小学校バスケットボール大会(八塩小男子優勝、同女子三位) |
| 29 | 日 | 町社会福祉を高めるつどい |
| 11 | 月3日 | 町功労者表彰式(故長谷山理一郎氏・遠藤孫助氏、阿部廣雄氏を表彰) |
| 6 | 月7日 | 町生活文化祭(於・有鄰館、朋楽荘、公民館) |
| 12 | 日 | 小松音楽兄弟顕彰音楽会(於・有鄰館) |
| ※ | | 東由利水道拡張事業起工式 |
| ※ | | 大平ヒュッテ竣工 |
| ※ | | 八塩小学校新校舎竣工 |

蔵・老方小統合協議の経過

▽……蔵・老方両校統合地の選定についての協議……△
▽……経過については、町報十月一日号で紹介しま……△
▽……したが、今回、その後の経過について概要を……△
▽……お知らせします。……△

〈10月2日〉 九月定例議会
最終日・議会全員協議会(町、
教委出席)

○ 教育委員会から、蔵・老
方両地区住民代表者協議会の
経過報告がなされた。内容は
「西山沿線ということでは合
意したが、一地点に一致する
までには至らなかった」とい
うもの。

○ 報告をふまえ、今後の対
応について協議の結果
・住民サイドでの話し合い
は限界にきている

・町、議会、教委で話し合
いを進めていくべき
との意見が大勢を占めた。

〈10月4日〉 町長、議長、
副議長、教育委員長、教育長
が、10月2日の議会の意向に
ついて協議した。

〈10月7日〉 町、議会、教
委、両地区代表者合同協議会
を持つ

○ 蔵地区委員……蔵・法内地
区では、これ以上話し合いを
続けても進展はしない。あと
は行政の責任で進めてほしい。
地域住民は、五十八年建築を
望んでいる。

○ 老方地区委員……全員欠席
○ 意見交換のあと、祝沢、
高村、黒沢など両学区内と西
山沿線を視察。

〈10月16日〉 議会全員協議
会(町、教委出席)

○ 現時点で一点を見出すこ
とは困難で、次回に教委案を
示してもらうことにして散会。

〈10月22日〉 議会全員協議
会(町、教委出席)

賞状を手に喜びの高橋さん



高橋さんが最優秀賞

NHK青年の主張
全国コンクール 秋田県大会で

第二十九回NHK青年の
主張全国コンクール秋田県
大会が十一月十四日、秋田

市のNHK秋田放送局で行わ
れ、本町五海保の高橋まき子
さん(23歳)が、見事、最優

秀賞に輝きました。

行政ベースで行くことを確認。
○ 教委から「今回、案を示
すこととされていたが、老方
地区からもう一度蔵地区代表
者と話し合う機会を設けてほ
しいとの申し入れがあり、こ
の協議結果をみて案を出した
い」との発言があり、これを
了承して散会。

〈10月26日〉 両地区代表委
員協議会

○ 両地区代表において、一
地点に合意をみるまでには至
らなかった。

〈10月29日〉 議会全員協議
会(町、教委出席)

○ 教委から、二十六日の両
地区代表の会合で一地点に合
意をみるまでには至らなかつ
た経緯の報告があつて、今後、
行政ベースで進むことを確認
した。

○ 教育委員長から「たたき
台」として「田子の沢(案)」
が示された。議員から「宮の
前」「蔵小現校地」が候補地と
して提案され、これら三地区
を協議の対象とすることにし

た。

○ 教委から教育上の資料、
町から財政概要の資料を提出。
町から財政概要の資料を提出。

〈11月4日〉 議会全員協議
会(町、教委出席)

○ 町より、10月29日に候補
地とされた三地区に関する資
料を提出。説明のあと、全員
で三地区を現地調査。
このあと、協議を再開し、
一議員からさらに候補地の一
つとして「老方字上の山地区」
が追加提案され、これを承認
した。

以上四カ所から一地区を選
定することを確認し、さらに
町よりこれら四地区に関する
資料を提出することにした。

〈11月13日〉 議会全員協議
会(町、教委出席)

○ 各課長が資料説明。この
中で、これまで「老方字上の
山地区」とされた場所は、図
面と照合した結果「老方字吉
野地区」であることを確認。
今後「吉野」と言うことで了
解を得た。

○ 話し合いが進められるな
かで見解を求められた町長は
秀賞に輝きました。

同大会には、原稿審査をパ
スした九人が出場。高橋さん
は、洋裁の技能を一生自分の
腕から離さないと心に決め、
現在、縫製会社に勤めながら
「一級技能士」を目指す日々
を、「青春ここに打ち込む」

・田子の沢は、取り付け道
路が急こう配(二一・三%)
で通学に無理があり、学校
解放など社会教育面から考
えた場合も問題がある

・吉野地区への建設は、公
共施設が町の中心部に集中
しすぎ、町全体から見た場
合バランスを欠く

と私見を出し「諸要件を整理
検討し、結論を見出してほし
い」と要請した。

○ この日の協議の結果、今
後の推進については町長に一
任することにした。

〈11月17日〉 町長は、議会
副委員長以上(九名)と校地
選定の促進について協議した。

〈11月22日〉 町長は、議会
各委員(九名、副委員長以上
を除く)と校地選定の促進に

ついて協議した。

以上が10月2日以降11月29
日までの経過概要です。

の市立北中学校体育館で行わ
れました。

本町からは、老方・大琴両
校児童が会場。市郡内の強豪
選手を相手に健闘し、団体の
部で大琴小が男女ともに三位、
女子個人の部で同小六年の鈴
木貴子さんが準優勝の好成績
を収めました。

昭和57年分所得税
青色申告決算説明会

12月7日(火)
午後2時～4時
商工会館

▽と き

▽ところ

大沼組が大臣表彰

積極的に雇用条件改善

「建設雇用改善のつどい」
が十一日十二日、東京・大手
町の産経ホールで開かれ、席

上、本町の大沼組（大沼武且
代表取締役）に、秋田県では
ただ一社、初村労働大臣から
表彰状が贈られました。



これは、大沼組が、
労働者の雇用条件の改
善や安定雇用、技術研
修会等への社員派遣な
どに積極的に取り組み、
労働大臣からの表彰状を
手に喜びの大沼社長

子供らの歌声高らかに

小松音楽兄弟の顕彰音楽会



小松音楽兄弟が残した優れた遺産を、生徒らは
心を込め、声高らかに歌いあげた

本町館合出身で広くその名
を知られている音楽家、故小
松耕輔、平五郎、清、三樹三
兄弟の顕彰音楽会が、十一月
十二日有鄰館で開かれ、子供
たちの明るい歌声が会場いっ
ぱいに響き渡りました。

これは、町教育研究所が今
年、郷土学習資料として、耕
輔、平五郎、清の作品の中か
ら一般に知られている曲や将
来ともに歌い継がれてほしい
名曲など五十二曲を収めた「小
松音楽兄弟作品選集」を発売
したのを記念し、小松兄弟を
顕彰するとともに、先人の残
した優れた遺産を受け継ぎ、
音楽を通して心豊かな人間性
の創造をと、町教育研究会が
初めて主催したものです。

会場には、永慶・みどり両
保育園の年長児をはじめ、町

内各小学校五、六年児童、中
学校全生徒、保母、教職員ら
四百五十人が集い、「お菓子
の汽車」「こけつこ大晦日」な
どの童謡から「はあやのお里」
「山の合唱」「由利小唄」など、
耕輔、平五郎の作品を中心に
十六曲を次々と心を込め、声
高らかに歌いあげました。

このあと、特別演奏として
武田瑞美子さん（警門会）が、
耕輔作曲の「母」「お山の細み
ち」「砂丘の上」をソプラノ独
唱。最後に、全員で「お山の
細みち」を合唱し、閉会しま
した。

音楽会を終えた関係者は
「今後もこの会を継続し、町内の
ママさんコーラスグループな
どの参加も得て、幅広く町の
音楽祭として定着させたい」
と話していました。

貴子さん（大琴小）健康優良児に

書類・実技などの厳しい審査パス



大琴小学校六年の鈴木貴
子さんは十一月九日、県健
康優良児童として、県教育
委員会と県学校保健会から
表彰状が贈られました。

表彰状を手に、明るい笑顔の
健康優良児・貴子さん

多大の効果をあげていること
が高く評価されたものです。
表彰状を手にした大沼社長
は「関係機関のご指導と社員

の協力によりこの栄を受ける
ことができたものであり、厚
くお礼申し上げますとともに、
今後一層、安心して楽しく働

ける会社づくりに努めていき
たい」と喜びを語っていまし
た。

これは、地域の学校保健活
動推進の一方策として、ふだ
んから健康保持増進につとめ、
勉学や各種スポーツに励み、
学力、体力ともに備っている
優良児童を表彰しているもの
で、医師らの審査、郡市学校
保健会の選考、作文、五十
走、走り幅飛び、ボール投げ、
斜懸垂による運動能力測定、
面接などの各厳しい審査を経
て選ばれたものです。

事業主の皆さん！
労働保険に加入を

労働保険（労災保険及び雇
用保険）の加入は、おすみで
すか。

労働保険は、一人でも労働
者を雇っている場合は業種の
いかなを問わず当然（強制）
加入しなければなりません。
労働者が安心して働けるた
め労働保険の加入は、事業主と
して当然の義務といえましょう。
未加入の事業主は、最寄りの
労働基準監督署又は、公共
職業安定所へ加入手続きをし
てください。

後田随想



教育長 進藤 新

です。

研究所の活動として毎年継続調査するのには、児童生徒の知
能検査、標準学力検査、学習環境調査があります。知能検査

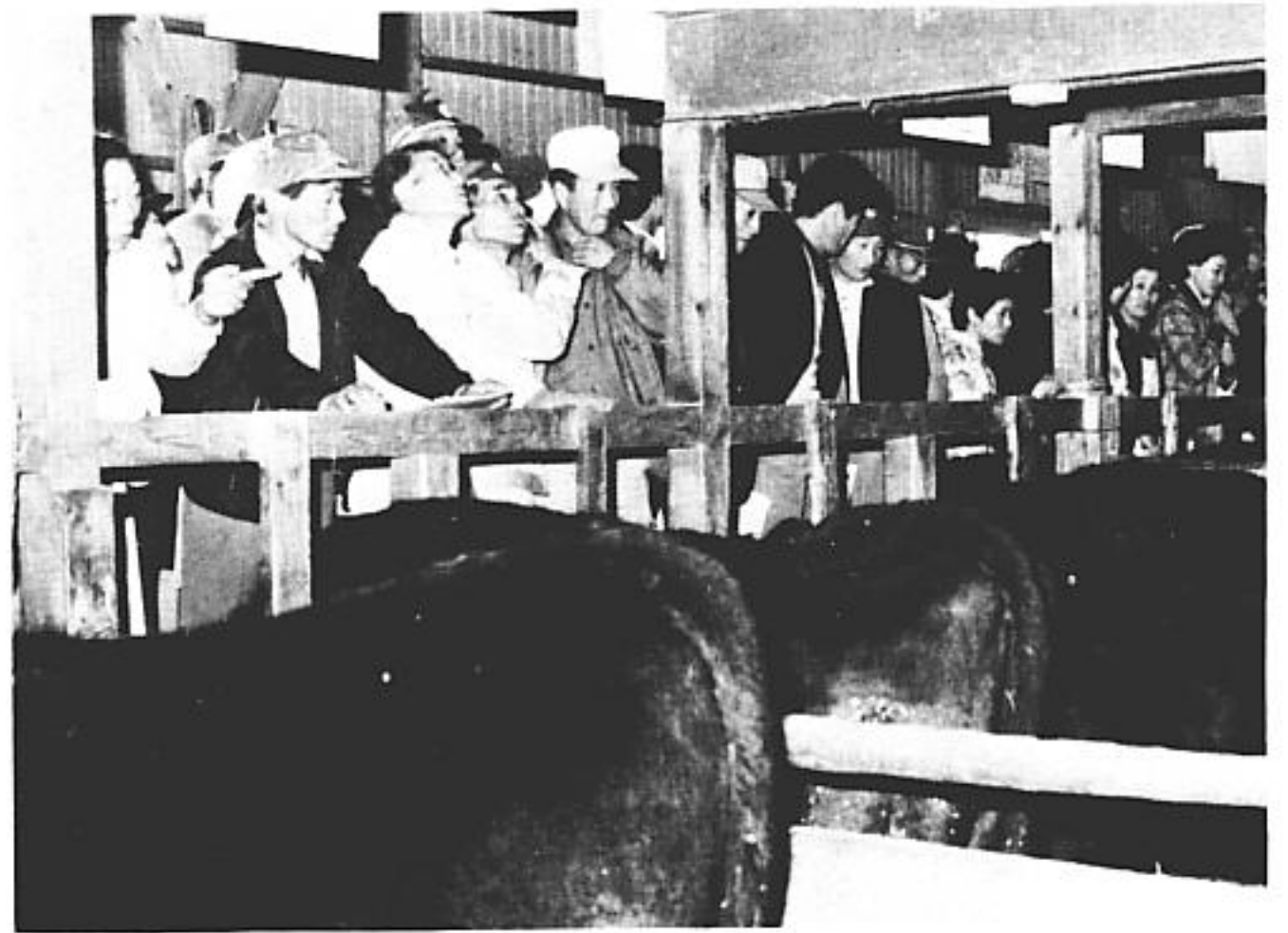
からは個々の知識や才能が測定され、学力検査では学校で学
び得た学問上の力が測定されます。前年度と比べて学力が向
上したかどうか、又他校と比べてどうなっているか、知能と
学力の相関はどうか、教師の指導法をどのように改善してい
くかーなど、あらゆる角度から分析がなされます。学習環
境調査では、子供の勉強する意欲の強弱、目的の定め方や継
続力、家庭環境からの影響などが測定されます。

これらの調査研究は、東由利の子供の素質や学力をもっと
伸ばしてやりたい願いを込めて実施するもので、各学校ごと
に学力向上対策が立てられています。調査研究結果は「研究
紀要」で紹介され、教職員全員に配布されます。

このほか、今年は、郷土教育資料「小松音楽兄弟作品選集」を
八月に発刊し、今後「東由利の民話第二集」を出す予定です。

本町で交流座談会開催

郡内畜産農家・関係機関一堂に



由利肉用牛経営研究連絡協議会の現地交流座談会が十一月十五日、本町を会場に行われました。

これは、郡内各市町の畜産農家や畜産事情等を視察し、お互いの知識技術の向上を図り「由利牛」の産地確立に努めようと毎年実施しているもので、今年で七回を教えます。

当日は、仁賀保、金浦を除く九市町の和牛飼育農家をはじめ、郡畜連、県畜産課など郡、県の関係十六機関から合わせて二百二十人

小松良一さん・小松建一さん(山崎)の共同畜舎を視察する郡内畜産農家

東由利の地名

= 30 =

板戸の「戸」は舟の出入口や、道路の入口を意味している字である。家にしても入口を戸の口とも呼ぶ。

戸のつく地名は全国に数多くある。例えば北九州市の戸畑(北九州市になる前は戸畑市)は、深い入江になつていて洞海湾の湾口に位置し湾の門戸をなすから門端とも表記されたことがあつての戸畑だといふ。また、青森県と岩手県の太平洋側に、一戸……九戸とあるが、吉田東伍博士の大日

板戸・境

本地名辞典では「昔えぞを防ぐための関所や木戸との説もあるが、これは方言で、部落や邑里を指しているものである」と言っている。

こうしたことから板戸は玉米から雄物川筋に通ずる道の、出入口からの地名でないだらうか。

うか。戸はこれで説明されても、板は何を意味しているか。板の語源を大言海は「直に通ずるか」として、平らな意と考えている。藤原明保氏によれば「漢字の板も版も、その字音インは木を半分に分けるのが原義で、平らなイタを意味

が参加。午前中、町内五農家の畜舎を視察し、午後には有鄰館で交流座談会を行いました。座談会では、下吹の畑山清一さんと下小路の遠藤光昭さんがそれぞれ経営概要を発表し、県畜産試験場の北川経営部長から「もうける飼育、経営」のポイントについて助言がありました。

このあと、質疑応答に移り▽アカバネ病予防注射料の低減▽肉牛飼育の将来展望▽改良の方向▽市場価格の推移―などについて、活発な質問、意見の交換が行われました。

人権上のトラブルは擁護委員に相談を

十二月四日から十日までは「人権週間」です。

人権にまつわるトラブルは、近隣騒音をはじめ、噂の流布によるいやがらせ、悪臭、家庭内のいざこざ、私的制裁の問題など、日常生活の場で起きることが多いのです。

このような人権問題を早期に解決し、被害者を救済するために設けられているのが「人権擁護委員制度」です。

ふだんの生活で、これは人権問題でないだろうかと感じたり、法律上どのようなのかわからなくてお悩みの方は、気軽に相談ください。相談は無料で、難しい手続きもいりませんし、内容についてはかたく秘密を守りますか

町長日記

師走となつて、出稼ぎに行った皆さんの日常に思いがゆく昨今となりました。

○ 前号で書きましたが、出羽丘陵開発事業の補助のかさ上げが正式に実現することになりました。草地造成費は七・五％だけの農家負担ですから荷が軽くなつたと思います。現在、事務作業は、農用地開発公団の手に移っています。今後大事なこと、機械使用の組合の運営だと思っています。

○ スキー場は、今月十九日オープン予定です。限られた土地を最大限に活用して造成しました。中級者までの人には満足して頂けるスキー場になると思います。かけ替え中の大琴橋は、十二月二十日―二十五日頃には開通の見込みです。林道のこの配のきつところ

は拡幅しましたので、車の便利は良くなりました。圧雪車も導入しました。町内外からの利用を期待しています。

○ 国では今、臨時議会が開かれて補正予算が審議されています。この予算が決

ら心配はいりません。本町の人権擁護委員は、次の三氏です。

まると、本町では一〇七号線の蔵工区に改良費二億六千万円、舗装費九千二百万円が追加になる見込みです。蔵工区は、明年の秋には全部が完了の見通しです。その後は、根城と奥ヶ沢間の改良になります。

農村環境整備モデル事業で実施している大吹川、袖山、舟打場の水道事業(総事業費一億六百万円)は、着工後三年目になりますが、予算の関係で普通の予算配分ではあと二年かかります。なんとか早期に完成したく、陳情を続けて来ていました

が、今度の国の補正予算が決まるとこの事業も解決になる見込みです。

○ 十月二日に九月の定例議会が終わつて以降、十一月二十九日まで、小学校統合について十三回の協議会を開いていますが、まだ結論をみません。父兄にとつても、児童にとつても、教師にとつても早い解決を望んで、そのために努力をしています。

・小野広志さん(宿)・阿部寅静さん(蔵)・八嶋与四三さん(家の下)。

12月のこよみ

陰曆異名・師走(しわす)
誕生花・極楽鳥花(恋の伊達者)
誕生石・トルコ石(繁栄)

曜 日	行	事
1 水		
2 木	貧血・乳がん検診(9:30、農協玉米支所)	
3 金	風疹接種(14:00、有鄰館)	
4 土		
⑤ 日		
6 月	住吉地区栄養改善講習会(9:30、住吉会館)	
7 火	水道拡張事業起工式、妊婦健康相談(9:30、朋楽荘)	
8 水	1歳6カ月児検診(13:00、有鄰館)	
9 木	貧血・乳がん検診(9:30、商工会館)	
10 金	ことぶき大学、予防接種ジフテリア(14:00、有鄰館)	
11 土		
⑫ 日		
13 月	貧血改善学級(9:30、大蔵館)	
14 火		
15 水	3歳児検診(13:00、有鄰館)	
16 木	貧血・乳がん検診(9:30、大蔵館)	
17 金	民生委員協議会(朋楽荘) 乳児健康診査(13:00、有鄰館)	
18 土		
⑲ 日	大平ヒュッテ竣工式、スキー場開き	
20 月	国保税(3期)督促状発送	
21 火		
22 水	予防接種麻疹(14:00、有鄰館)	
23 木	八塩小竣工式(10:30) 貧血・乳がん検診(9:30、高瀬館)	
24 金	農業委員会	
25 土		
26 日		
27 月		
28 火	役場大掃除、仕事納	
29 水		
30 木		
31 金		
摘 要	中旬 議会定例会招集 25日 固定資産税(4期)納期限 1日～10日 年末交通安全運動 1日～31日 飲酒運転追放強調県民運動	

年賀状は早目に

急ぎの郵便物は老方局へ

十二月は郵便局が一年中で最も忙しい時期。大量の郵便物をスムーズに処理するため、郵便局では、次の点について協力をお願いしています。

- 一、年賀状を出すときは「年賀町内あて」「年賀秋
- ① 11月15日より小包郵便料の割引制度が実施されています。
- ・10個～99個 20%の割引
・100個以上 25%の割引
- 差出人は同一人と限りませんので、ご近所まとめてお出しください。また、小包と手紙が同時に配達され

おしらせ

町の概要

人口総数 6,301人
うち男 3,117人
うち女 3,184人
世帯数 1,442戸
面積 148.51km²
(57.10.31現在)

田県「年賀その他」と簡単な紙札をつけ、十文字に束ねて、普通はがき(私製はがき)を年賀状として出されるときは、一枚一枚の表面に必ず「年賀」と朱書きして。

② 表示されていない場合は年内に配達されます。

三、郵便番号は、ワケ内にはつきりと。

四、あて名は、番地まではつきりと。様方も必ず書いて。

③ 同姓同名が増え、配達区分けにとまどつています。五、小包も早目に。

④ 11月15日より小包郵便料の割引制度が実施されています。

東中生徒会

「わらび採り」収益金の一部寄贈

町の社会福祉に役立ててと東由利中学校生徒会(菊地邦彦会長、二百二十四人)は、このほど、町社会福祉協議会に三万円を寄付しました。

これは、生徒会事業として実施した「わらび採り」の収益金の一部です。

同生徒会からは、五年前から毎年こうした収益金の一部が寄付されており、町社会福祉協議会では、より充実した福祉の実現に努め、子供たちの善意に答えたいとしています。

社福だより

香典返しとして、故佐藤政次氏のご遺族(佐藤琴子さん、東京・武蔵野市)から金一封が届けられました。

故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

慶弔だより

10月21日～11月20日受付

〇うぶ声

阿部明子 蔵 和弘 長女

統計で見るわが町 ⑦

農家1戸当たり農業生産性

市町村名	順位	指標
大 湯 村	1	13,757千円
県 平 均		1,415
大 森 町	34	1,376
東由利町	35	1,371
羽 後 町	36	1,370
八 森 町	69	532

昭和55年、東北農政局秋田統計情報事務所「秋田県農林水産統計年報」

(注) 農業粗生産額から物的経費を除いた額で、付加価値に相当する農業純生産額でいわゆる「生産農業所得」である。

稲作転換奨励補助金、水田利用再編対策奨励補助金等は含まれる。

林 野 面 積

市町村名	順位	指標
鹿 角 市	1	58,596ha
県 平 均		12,363
本 荘 市	27	12,120
東由利町	28	12,071
男 鹿 市	29	12,006
十文字町	69	3

昭和55年度末現在

林政課「秋田県林業統計」

(注) 1. 国有林・公有林・私有林の総数

2. 県平均は、69市町村の算術平均。

・お悔み申し上げます

長谷山久一 地下の沢 77歳
小松 フミ 山崎 64歳
小松 巖 宇戸坂 67歳
阿部千代蔵 横渡 80歳
阿部 徳助 岩館 88歳

結婚

畠山 正志 茂 沢
鈴木 紀和子 大内町
田口 徳定 大内町
佐藤 周子 石 高

小野信弘 高屋 信夫
佐野真一 館合新田 貞雄
遠藤沙登子 小倉 清喜
長谷山亮 地下の沢 栄
木島明弘 大台 金男
谷口真生 上通 司
遠藤貴恵 新所 熊雄 二女
鈴木久美子 袖山 将
畠山明子 下通 孝夫 長女
佐藤幸恵 寺田 幸基 長女

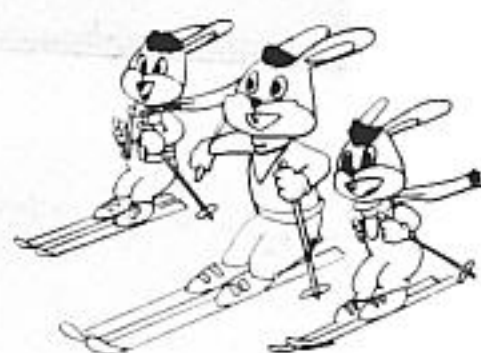
「ほんの1杯だけ」が命とり

12月1日～10日 年末の交通安全運動
12月1日～31日 飲酒運転追放強調県民運動



▷…飲んだら乗らない……▷
▷…乗るなら飲まない……▷
▷…乗るなら飲ませない……▷

ワイド^{II}になって
19日オープン



大平スキ一場

ヒュッテはモダンなデザインで一度に百人以上が休憩でき、七畝のゲレンデの一大パノラマが楽しめるとともに、

育てよう学ふ心

公民館の
ひろば

広げよう連帯の輪



食堂部では十数種類のおいしいメニューでお客様をお待ちします。



六角形屋根のモダンな大平ヒュッテ

また、一基しかなかったり
フトは三基に増設したほか、
大型の圧雪車も常備しました。
そのほか、駐車場も約二百台
が収容可能となっています。

昨年の大平スキー場利用客のおよそ七割は町外からの利用客となっていますが、常設のスキー学校があることも町外利用者の大きな魅力となっており、このスキー学校では今年は昨年以上の指導体制で、おおぜいの利用者を期待しています。

級 学 人 婦				家庭学教級		
袖山	玉米	法内	老方	蔵	袖山	地区名
12 / 26	12 / 12	12 / 7	12 / 5	12 / 5	12 / 5	期日
袖山分館	玉米支所	克雪センター	下通り会館	大蔵館	袖山分館	会場
生花と講話	料理と講話	講話と看護実技	ビデオと座談会	講話とレクリエーション	映画と話し合い	内容

なお、リフトの利用料金は大人一回五十円（十四回券五百円）。中学生以下一回三十円（十四回券三百円）を検討中です。

おしらせ

家庭教育学級
婦人学級
開設

町公民館では、通年の事業として家庭教育学級や婦人学級を各地区で開設、子育てや情操の向上等をねらいとした学習の機会を提供しています。が、今月の予定は左表のようになっていますのでお知らせします。

スキー用品交換市場開設

子どもの成長によって替えるものをえないものは数多くありますが、スキー用品もその一つです。

町スキークラブ（石綿民喜会長）では、そうした親の負担の軽減や、物を大切にすることといった考え方から、町公民館と共催で「スキー用品交換市場」を行います。

買い替えたいと思っているもの、また使用しないでねむっているものなどなんでもけっこうです。ご持参ください。

また当日は、スキー映画の
映写会や、スポーツ店による
スキー用品の販売も予定して
おります。

・日時 12月12日(日)午前10時から午後3時まで。

・会場 町公民館



浅利先生を迎えての老方婦人学級。
商工会館の日本間がビッシリだった

12月19日は家庭の日

新刊購入図書

▼おひさまがいっぱい
▼かぜにもらったゆめ
▼しらさぎとあきひこ
▼小さな愛のうた▼妹
▼のぼるはがんばる
▼よい名前のつけ方
▼体のことわざ▼こんなに
ちば赤ちゃん▼真髓のス
ポーツドライビング
▼この夢をここに
▼私の履歴書▼池田大作
▼野望▼功大好き▼体罰
のすすめ▼そつとさよな
ら▼嫁さがし課長を命ズ
ら▼庭木全科▼ギターのひ
き方▼全国うまいもの逸
品▼日本国憲法▼来生た
かお夢の途中▼並みの人
生でありたくない▼古典
の中の愛と怨み▼恋人た
ち▼私設刑事▼夜の橋
▼わが一期一会▼鉄道の
旅を楽しむ本▼嫁姑けん
かのすすめ▼草柳大蔵の
女性抄▼考証宮本武蔵
▼父犀星の秘密▼忙しい
奥さん▼孫子▼蟹の縦ば
い▼あかん男▼白蛇抄
▼七三▼石井部隊▼写真
の写し方入門▼木版画の
習い方▼昭和五十八年鳳
凰暦▼原色薬草▼美しく
装う着つけと帯の結び方
▼収納と整理のコツ
▼レタリングエッセンス
▼基本レタリング入門
▼初歩レタリング入門